

授業概要

本講義は、税務会計論Ⅰを履修した者を対象として、法人税法の主要事項についての理解をさらに深めることを目的とする。課税所得の計算に関する各項目について、益金算入・不算入・損金算入・不算入などの具体的な内容を修得し、法人税の所得金額と法人税額の計算の仕組みを理解できるようにする。講義の中では、必要に応じ、税務専門家の観点から、実務上の注意点や問題となっている事項にも触れて講義を行う。

授業計画

| | |
|--------|----------------------|
| 第 1 回 | 税務会計の基礎 |
| 第 2 回 | 課税所得の計算 |
| 第 3 回 | 益金の額の計算その1－受取配当等 |
| 第 4 回 | 益金の額の計算その2－資産の評価益等 |
| 第 5 回 | 損金の額の計算その1－売上原価、繰延資産 |
| 第 6 回 | 損金の額の計算その2－固定資産の減価償却 |
| 第 7 回 | 損金の額の計算その3－役員給与等 |
| 第 8 回 | 損金の額の計算その4－交際費等 |
| 第 9 回 | 損金の額の計算その5－寄附金 |
| 第 10 回 | 損金の額の計算その6－租税公課・罰金等 |
| 第 11 回 | 損金の額の計算その7－貸倒損失・引当金等 |
| 第 12 回 | 損金の額の計算その8－その他の損益 |
| 第 13 回 | 法人税額の計算 |
| 第 14 回 | 法人税の申告と納税 |
| 第 15 回 | 総まとめ |
| 第 16 回 | 期末試験 |

到達目標

1. 法人税法の主要項目を理解するとともに、法人税と企業の経済活動とのかかわりを理解する。
2. 企業会計と法人税法との関係を理解する。
3. 最終的には、具体例に応じて法人税の所得金額と法人税額の計算ができるようにする。

履修上の注意

企業会計の立場から法人税の仕組みを学習するため、基礎的な簿記・会計の知識があることが望ましい。

予習・復習

毎回の授業後の復習が必要である。

評価方法

期末試験（70%）、授業内レポート等（30%）で評価する。授業への貢献により加点することがある。

テキスト

- ・教科書名：（第3版）要点解説 税務会計基礎講座
- ・著者名：平野嘉秋著
- ・出版社名：一般社団法人大蔵財務協会
その他プリントを配布して講義を行う。